



TOUR DE HOKKAIDO

ツール・ド・北海道2012実行委員会の開催

ツール・ド・北海道2012実行委員会が5月18日(金)、札幌市「かでの2・7」において開催されました。

大会実行委員長には、当協会副理事長勇崎恒也氏、同じく実行副委員長には、日本自転車競技連盟参与穴田勝彦氏と北海道自転車競技連盟理事長小野盛秀氏がそれぞれ選任されました。

今年のツール・ド・北海道2012は道北・道央圏地域において開催されますが、大会概要及びコースについては、次のとおりです。

大会概要

1 大会日程

9月15日(土)～9月17日(月・祝)の3日間

2 開会式～9月15日(土)

旭川市 春光台公園特設会場(9時00分～9時20分)

※ 開会式終了後、同会場より第1ステージのロードレースがスタート致します。

3 各ステージ(ロードレース)

□ 第1ステージ (約159km)～9月15日(土)

旭川市(S～春光台公園)～当麻町(F～役場前)

□ 第2ステージ (約159km)～9月16日(日)

当麻町(S～役場前)～美瑛町(F～丸山公園)

□ 第3ステージ (約198km)～9月17日(月・祝)

美瑛町(S～丸山公園)～札幌市(F～モエレ沼公園)

4 市民レース

□ タイムトライアル(1.2Km)～9月15日(土)

・ 美瑛町(丸山公園周辺特設コース)

□ ロードレース～9月16日(日)

・ Aコース(約107Km) 当麻町(S役場前)～美瑛町(F丸山公園)

・ Bコース(約87Km) 東川町(S役場前)～美瑛町(F丸山公園)

- ・ Cコース(約52Km) 美瑛町(S聖台公園)～美瑛町(F丸山公園)

□ クリテリウム(2. 2Km～33Km)～9月17日(月・祝日)

- ・ 札幌市東区(モエレ沼公園特設コース)

コース概要

- 第1ステージは、旭川市春光台公園をスタートして、道道72号線に入り、鷹栖町に抜け、江丹別峠(標高 440m)を經由して幌加内町に入ります。そば畑の中を疾走し、道道48号線に入り、和寒峠(標高 329m)から和寒町、剣淵町の平坦な田園地帯を走り、レークサイド桜岡を抜けてから士別市に入ります。道道61号線を登坂しながら岩尾内ダムをわたり、於鬼頭峠(標高 610m)からは一気に下り、「きのこの里」愛別町、「いちごのまち」比布町の美しい田園地帯を疾走して当麻町役場前にフィニッシュします。
- 第2ステージは、当麻町役場前をスタートして、大雪山国立公園大雪連峰に連なる丘陵地帯の道道を走り、「写真の町」東川町役場前を通過して、東神楽町から美瑛町に入ります。変化に富んだ丘をアップダウンしながら山麓地帯の町道を登り、「ビルケの森」を抜け白金温泉郷に入ります。白金温泉から今ステージ最高峰でもっとも過酷な十勝岳を登坂し、吹上温泉(標高 1,045m)を通過してから一気に下り坂になり、富良野盆地の平坦部につながる上富良野町に入り、再び美瑛の丘を巡りながら美瑛町丸山公園にフィニッシュします。
- 第3ステージは、美瑛町丸山公園をスタートして、国道 237 号を横断してパッチワークの丘を巡り、ラベンダーの香りが漂う中富良野町の山麓地帯を走り、尾根を越えてから国道38号線に入り、芦別市、赤平市と空知川沿いに旧炭坑街の平坦地を走り抜け、交通の要衝である砂川市、滝川市に抜け、空知川、石狩川を渡って新十津川町に入ります。新十津川町からは、国道 451 号線の丘陵地帯を疾走して、当別町の「道民の森」と青山ダム湖を抜けて、山岳地帯に入り、日本海を望む夕日の美しい石狩市厚田に入ります。そのまま海岸線の丘を疾走して今ステージ最長の「石狩河口橋」をわたり、生振地区に抜けてから、国道 337 号線、道道 112 号線を經由して札幌市モエレ沼公園にフィニッシュします。

□ 市民レース

今年の市民ロードレースは、ツール・ド・北海道2012の第2ステージ(当麻町～美瑛町)を一部シートカットしたコースを3コースに分けて設定しております。Aコースの107Kmは、第2ステージと同じ感覚で競技を楽しむことができます。

また、B、Cコースもそれぞれのクラスにあった距離を設定しており、無理なく多く

の市民の方が参加できるようにしております。

コース図(案)

別添コース図のとおりですが、各ステージのコース図(案)は協会HPのツール・ド・北海道2012に登載してあります。

実行委員会の会議状況

「会場かでの2・7」

